

れんごう中越地協

第1095号2021.12.21
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合新潟第1回地協代表者会議

重点分野や推進分野意見交換

連合新潟第1回地協代表者会議が、12月4日(土)午前10時にガレックスホールで開かれた。牧野会長は開催にあたる挨拶で、第49回衆議院選挙と2022年春季生活闘争方針について触れた。報告意見交換では、

運動分野を支える基盤強化の課題で、「地域協議会への役員配置」、「第69回地協委員会議日程等」が報告された。重点分野としては「連合組織拡大プラン2030」の実現に向けた拡大目標の必達と



新潟県労働者福祉協議会(労福協)は、2021年度第1回地区労協事務局長会議を、12月3日午後1時、新潟市の勤労福祉会館で開催した。主議題は、10月に就任した各地区事務局長の顔合わせと、課題の実績共有。牧野理事長挨拶に続いて参加者の自己紹介が行われ、その後、今井長岡地区労協事務局長が新潟県ライフサポートセンター事業の10月と11月の実績と

新潟県労働者福祉協議会 地区労協事務局長会議

して、受付地域や相談内容、相談傾向等を報告した。続いて、各構成団体から次の課題について説明があった。県労協事務局は各地区労協協交付金を説明。新潟ろうきん福祉財団からは「ワーク&ライフセミナー」について説明。いしがた協同ネットは「労働者協同組合法の自治体への要請行動」について説明。連合新潟から「連合

2022年春季生活闘争関係では、方針案の説明と「05(れんごう)の日」の街宣行動について報告。連合労働相談対応の強化に向けた取り組みでは、労働相談ホットライン(0120-1154-052)の集約と年

3回(2、6、12月)は連合新潟対応とする。また、推進分野では第93回「愛のキャンデー」地域合・愛のキャンデー」地域の活用、平和運動の推進について意見交換した。このほか、第49回衆議院選挙のまとめ(案)や自治体推薦議員との連携、組織内外における幅広い労働教育の迫伸等が報告された。

「所得倍増」。懐かしい言葉と再会である。収入を上げるのではなく、所得を上げる一筋である。控除を減らせば、直ぐに上がる。基本控除、配偶者控除、医療費控除、保険費控除、いっぱいあるが政府の巧みな言い方に騙されないようにしなければならぬ。高度経済成長政策を推進した池田元首相は政権のスローガンを政策ブレインに相談した。ずっと後に首相となる宮沢喜一さんがその人。「忍耐」のほかに、もう一つ何か言葉はないか。そこで思いついたのが「寛容」であると宮沢さんの著書にある。安保闘争で国論が対立した後だっただけに、「問答無用はいけません。反対論に対して寛容であるべきだ」と。そうして「寛容と忍耐」の標語が生まれたわけだが、池田総理を中心

に、各地区労協協の報告を受けた。今井長岡地区労協事務局長からは、「新潟県ライフサポート事業に対する取り組み」に、各地区で強弱があり、県労協事務局の指導強化を求めた。県労協事務局からは、「来年3月の地区労協事務局長会議を計画するが、今回明らかとなった課題について引き続き検討する」旨の見解が述べられた。

「愛のキャンデー」による助成金」について説明した。次に、各地区労協協の報告を受けた。今井長岡地区労協事務局長からは、「新潟県ライフサポート事業に対する取り組み」に、各地区で強弱があり、県労協事務局の指導強化を求めた。県労協事務局からは、「来年3月の地区労協事務局長会議を計画するが、今回明らかとなった課題について引き続き検討する」旨の見解が述べられた。

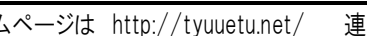
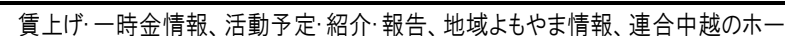
・愛のキャンデーによる助成金」について説明した。次に、各地区労協協の報告を受けた。今井長岡地区労協事務局長からは、「新潟県ライフサポート事業に対する取り組み」に、各地区で強弱があり、県労協事務局の指導強化を求めた。県労協事務局からは、「来年3月の地区労協事務局長会議を計画するが、今回明らかとなった課題について引き続き検討する」旨の見解が述べられた。

定(産業別)最低賃金報告、2021年度労働条件実態調査、2022年度地域ミニマム運動賃金実態調査結果等が報告された。また、2021賃金確定闘争中間報告が自治労委員から報告された。次に協議・審議事項として、連合新潟2022年春季生活闘争方針(案)について桑原副事務局長が説明し協議が行われた。このほか、春季生活闘争に関わる当面の日程等が報告された。

次の委員会は、2月2日に予定される。

賃上げ・一時金情報、活動予定・紹介・報告、地域よもやま情報、連合中越のホームページは <http://tyuuetu.net/> 連合中越のメールアドレスは rengo.c@topaz.ocn.ne.jp

サラリーマン川柳(年の瀬の 届くはがきは 喪中のみ) (気がつけば 怒る母より 背が高い) (ふたり鍋 カニでもないのに 会話なし) (ちゃんとやれ それじゃ分からん ちゃんとよ)



サラリーマン川柳(「後でやる!」妻の顔見てすぐにやる)(クリスマス意味もないのに早帰り)(ラインより心に響く)置手紙(除夜の鐘今年も無事で一人です)

各支部総会特集

連合中越地協 各支部が総会を開く

新年度の活動を開始

南魚沼支部

第14回南魚沼支部総会を、11月19日(金)に開催しました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防として、来賓については、連合中越地域協議会の小林事務局長のみ来ていただき、それ以外の方からはメッセージを頂きました。また、出席委員についても委任状対応していただき、最低限の人数での開催としました。

今年度の活動としては、春闘決起集会やメーデーを含め縮小開催や代替事業での開催となり、計画通りの活動とはいきませんでした。新たな取り組みとして南魚沼市長へ次年度予算編成に関する施策要望書を手交しました。



今年度の活動としては、春闘決起集会やメーデーを含め縮小開催や代替事業での開催となり、計画通りの活動とはいきませんでした。新たな取り組みとして南魚沼市長へ次年度予算編成に関する施策要望書を手交しました。



小千谷支部

連合小千谷支部第14回定期総会を12/2に開催いたしました。小千谷支部推薦議員をはじめ、労金小千谷支店の源川支店長、こくみん共済coop中越支所の山田係長にご臨席を賜り、ご挨拶いただきました。その後活動方針・予算・新役員について、代議員よりご承認いただきました。

この1年は、今なお収束していない新型コロナウイルスの影響で活

動のほとんどが縮小あるいは中止となりましたが、今後も引き続き、井浦新支部長体制のもと、できることをできる範囲でやっていく所存であります。活動は縮小でも気持ちは大きく「団結して頑張ろう!」



北魚沼支部

北魚沼支部は11月26日(金)に、魚沼市の小出郷福祉センターで総会を開催しました。今年は各単組から昨年よりも多くの出席者がありました。また来賓として、中越地協の小林事務局長から出席いただきました。



昨年に引き続き思うように活動ができなかった1年でしたが、メーデーは大会の代わりに折込チラシで市民にメーデーをアピールしたこと、幹事会を2か月に1回の割合で開催し、単組代表者会議も方針どおり定期開催できたことを報告し、今後もやれることを積み上げていけるようにしたい

と運動方針を提案、報告、方針ともに、賛成多数の拍手で承認されました。そして新役員を選出し、山本支部長の音頭で「団結がんばろう」を行い、閉会しました。



※十日町支部・見附支部の総会の様子は、次号以降掲載いたします



今日はお休みしています。
この冬はリラックサス、リラックサス。

新しい働き方・休み方を実践するために
年次有給休暇を上手に活用しましょう

- 「年次有給休暇の付与割合」を導入しましょう。
- 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を活用すれば休暇の分散化にもつながります。



厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署
働き方・休み方改善ポータルサイト: <https://work-holiday.mhlw.go.jp/>
年次有給休暇取得促進特設サイト

働き方の新しいスタイル

